

漁業の経営事例 (漁業所得300万円以上)

各漁業種類ごとの漁業所得をお示しますが、漁船規模や経験年数などにより大きく違いが出ます。ほんの一例です。



離島地区

一本釣

経営者の概要

一本釣(専業)を営むA氏(40代)は、妻・子供3人と暮らしています。

経営内容

5トン未満の漁船で親族と2名乗船により操業し、マグロ、タイ類、メダイなどを漁獲しています。

年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マグロ	→					←→						←→
タイ類				←→								
メダイ								←→				

経営の工夫

- ・省コスト化のために減速航行など省エネ活動
- ・取引単価向上のために高単価が期待される活魚出荷・ネット販売の実施、出荷時期の調整
- ・操業効率を高めるために省力化に繋がる電動リールの導入



単位:万円

水揚金額	経費	漁業所得
1,000	640	360

経費
燃料費、販売手数料
消耗資材費、餌代等

今後の目標

資源の減少(特にマグロ)に備えるため、漁獲対象を他魚種にも広げて、資源状況に左右されない経営を目指します。

イカ釣(+延縄)

経営者の概要

イカ釣と延縄を組合せて営むB氏(50代)は、妻・両親・子供1人と暮らしています。

経営内容

5トン超の漁船で1名乗船により操業、イカ類、タイ類、ブリ類などを漁獲しています。

年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
イカ類					←→							
タイ類	←→										←→	
ブリ類	←→										←→	

経営上の工夫

- ・省コスト化のために船底清掃など省エネ活動
- ・取引単価向上のために鮮度保持技術の導入
- ・操業効率を高めるために漁具投入をスムーズにするサイドスラスターの導入

サイドスラスター
船を横に移動させるための推進装置

イカ釣



延縄



単位:万円

水揚金額	経費	漁業所得
2,000	1,240	760

経費
燃料費、漁船維持費、漁業資材費、販売
手数料、餌代等

今後の目標

財務内容を正確に把握し将来に亘って計画的な設備投資を行うため、日々の会計管理を的確に行って、経営効率の向上を目指します。



離島地区

一本釣 (+ 曳縄)

経営者の概要

一本釣と曳縄を組合せて営むC氏(40代)は、妻・子供2人と暮らしています。

経営内容

5トン未満の漁船で1名乗船により(盛漁期のみアルバイト1名を加え)操業し、チカメキントキ、メダイやカツオ類などを漁獲しています。

年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
チカメキントキ				←→								
メダイ	←→							←→				
カツオ類	←→							←→				

一本釣(チカメキントキ、メダイ)



曳縄(カツオ類)



経営上の工夫

- ・省コスト化のために減速航行など省エネ活動
- ・取引単価向上のために高単価が期待される県外新規市場の開拓を実施
- ・操業効率を高めるために魚群探索時間短縮と操業時間増大を目的とする漁業用ソナーの導入

単位:万円

水揚金額	経費	漁業所得
1,000	600	400

今後の目標

これまでの取り組みと併せて、地元(観光業者等)や

漁業用ソナー:音響により、漁船周辺の魚群や瀬の状況がわかる。

経費
燃料費、販売手数料、人件費等

ネットでの販路を開拓し手取り収入の増大を目指します。

一本釣 (+ 刺網、延縄、採介藻)

経営者の概要

一本釣等の複数種類を組合せて営むD氏(40代)は、妻と暮らしています。

経営内容

5トン未満の漁船で1名乗船により操業し、アジ類、ブリ類、サワラ、サザエなどを漁獲しています。

年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一本釣						←→						
刺網					↔							
延縄		↔										
採介藻	↔		←→									↔

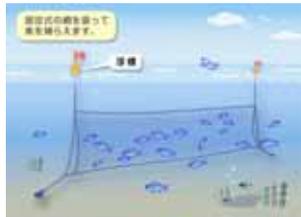
経営上の工夫

- ・水揚量向上のために漁海況に応じて臨機応変に操業漁業種類を切り替え
- ・取引単価向上のために鮮度保持技術の導入
- ・操業効率を高めるために魚群探索時間短縮と操業時間増大を目的とする漁業用ソナーの導入

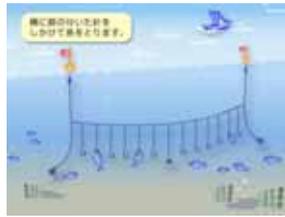
一本釣(アジ類、イサキ)



刺網(イカ類)



延縄(ブリ類)



採介(サザエ、ひじき等)



単位:万円

水揚金額	経費	漁業所得
1,400	850	550

経費
燃料費、漁船維持費、漁業資材費、餌代等

今後の目標

複数年に亘って計画的に設備投資を行い、操業の効率化による水揚量の増大を目指します。



本土地区

刺網

経営者の概要

刺網(専業)を営むE氏(40代)は、妻・子供3人と暮らしています。

経営内容

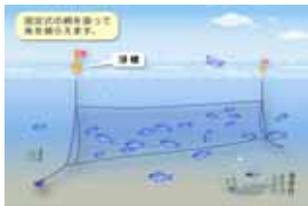
5トン超の漁船で親族と2名乗船により操業し、タイ類、イサキ、ヒラメ、カマスなどを漁獲しています。

年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
タイ類			←→	←→				←→	←→	←→	←→	
イサキ			←→	←→								
ヒラメ	←→	←→	←→									←→
カマス					←→	←→	←→	←→			←→	←→

経営上の工夫

- ・省コスト化のために船底清掃など省エネ活動
- ・取引単価向上のために高単価が期待される活魚出荷量の増大
- ・操業効率を高めるために積極的な漁場探索を目的とするエンジン(馬力アップ)の導入



単位:万円

水揚金額	経費	漁業所得
1,000	580	420

経費
燃料費、販売手数料、人件費等

今後の目標

漁業者の減少に伴って生じた未利用漁場の有活用などにより、水揚量の増大を目指します。

たこつぼ(+曳縄、刺網、延縄)

経営者の概要

たこつぼ漁業等の複数種類を組合せて営むF氏(50代)は、妻と暮らしています。

経営内容

5トン超の漁船で1名乗船により(盛漁期のみアルバイト4名を加え)操業し、タチウオ、イカ類、クエ類などを漁獲しています。

年間スケジュール

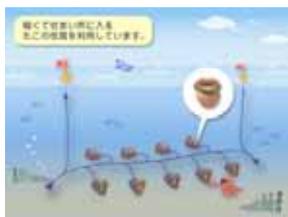
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
タコ類				←→	←→	←→	←→	←→	←→			
タチウオ	←→	←→	←→									
イカ類				←→	←→							
クエ類	←→									←→	←→	←→

経営上の工夫

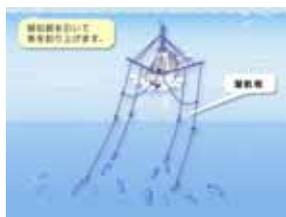
- ・省コスト化のために船底清掃など省エネ活動
- ・水揚量向上のために経費負担の少ない新規漁業種類の導入
- ・操業効率を高めるために漁具投入作業を省力化する潮流計の導入

潮流計
潮流の向き、強さの可視化が可能となる。

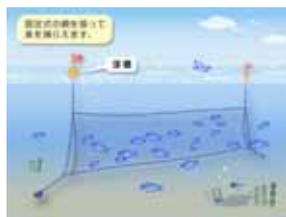
たこつぼ



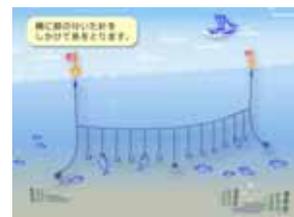
曳縄(タチウオ)



刺網(イカ類)



延縄(クエ類)



単位:万円

水揚金額	経費	漁業所得
830	530	300

今後の目標

漁獲魚の取扱技術を向上させ、活魚出荷などを増やし取引単価アップを目指します。

経費
燃料費、販売手数料、漁船維持費、漁業資材費等